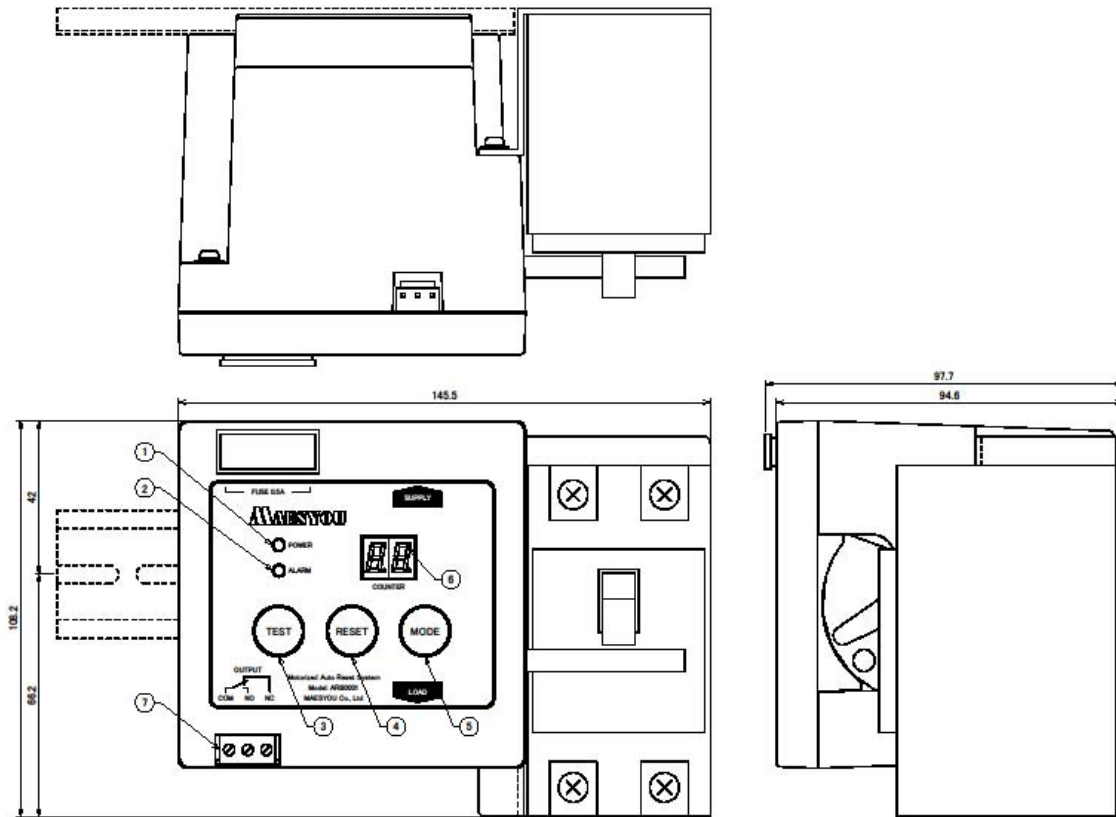


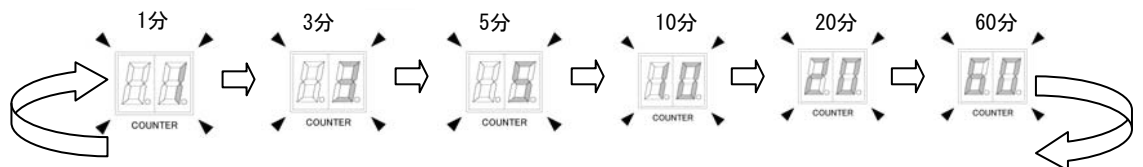
I 各部の説明



- ① powerランプ 電源が供給されている時に点灯します。
 電源が供給され、再投入待機時に点滅します。 ※1.再投入待機時間設定可能
- ② ALARMランプ 瞬断判定(再投入後、3秒以内でトリップした時)時に点灯します。 ※2.瞬断判定時の再投入回数は初期設定で1回、3回の選択可能
 間欠判定(再投入後、3秒以上でのトリップが10H以内で5回トリップした時)時に点滅します
- ③ TESTボタン 再投入動作を1回します。
 TESTボタンでの動作ではカウントしません。
- ④ RESETボタン RESETボタンのみ --- ALARMランプリセット RESET+MODEボタン --- 再投入カウンターリセット
- ⑤ MODEボタン カウンター表示の切替をします。押す度に「リセット」に位置が変わります。



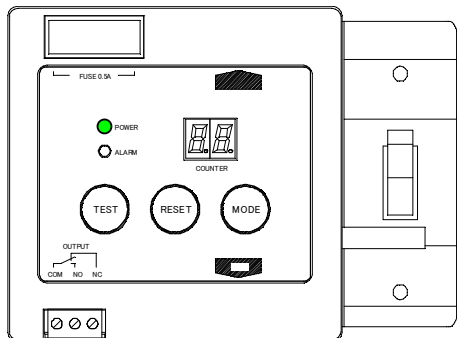
再投入待機時間を設定します。 MODE 3秒間長押しにて表示が点滅に変わり、押す度に変わります。



- ⑥ カウンター 通常時は再投入回数を表示します。
- ⑦ ALARM出力 ALARMランプ表示時に無電圧接点出力(C接点)します。

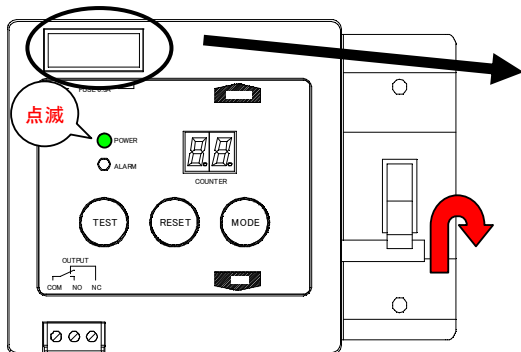
Ⅱ 基本動作の説明

- ① オートリセットブレーカが正しく接続されたことを確認し、ブレーカを「入」にします。
- ② ブレーカの一次側に通电し、オートリセットブレーカの「POWER」LED（緑色）の点灯を確認。



- ③ ブレーカを「切」にするとオートリセットブレーカの「POWER」LEDが点滅を始めます。
設定時間後にオートリセットブレーカのレバーが上下し、ブレーカを「入」に復帰します。

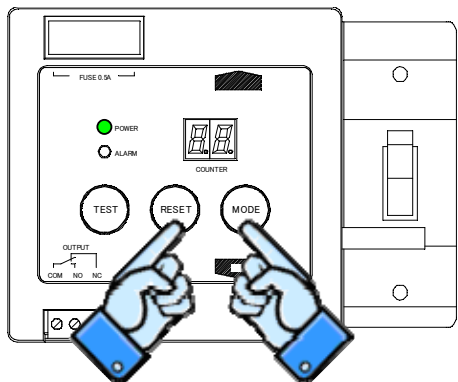
【注意：「POWER」LED点滅時は、レバーに指を挟まれないようブレーカから離れてください】



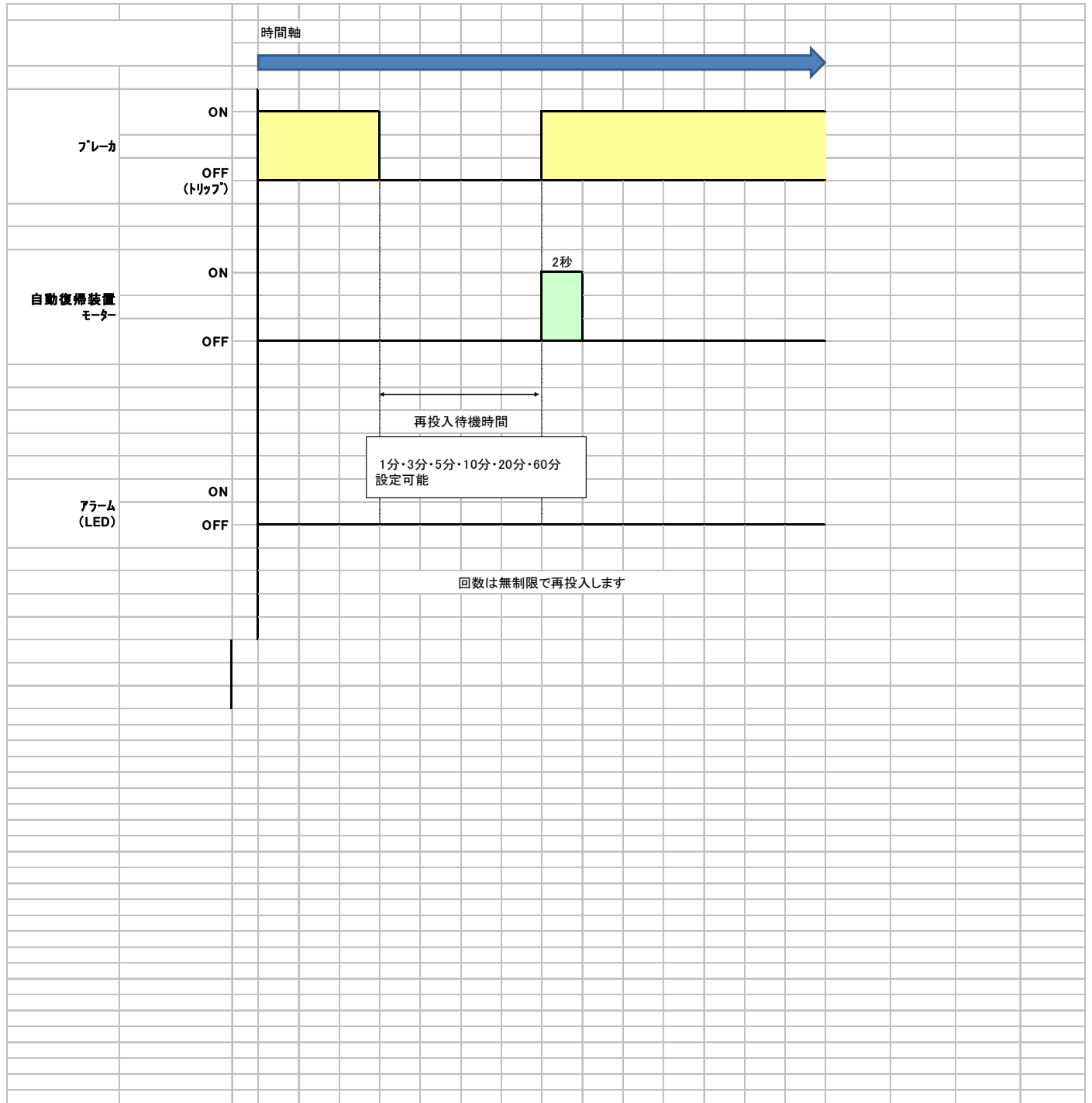
危険

保守時など、ブレーカを切って作業する場合は、**必ずヒューズを外してください。**
自動的にブレーカを入りにしますので、危険です。

- ④ ブレーカが復帰するとオートリセットブレーカのカウンタが加算されます。
「RESET」ボタンと「MODE」ボタンを同時に押してカウンタ値をクリアしてください。



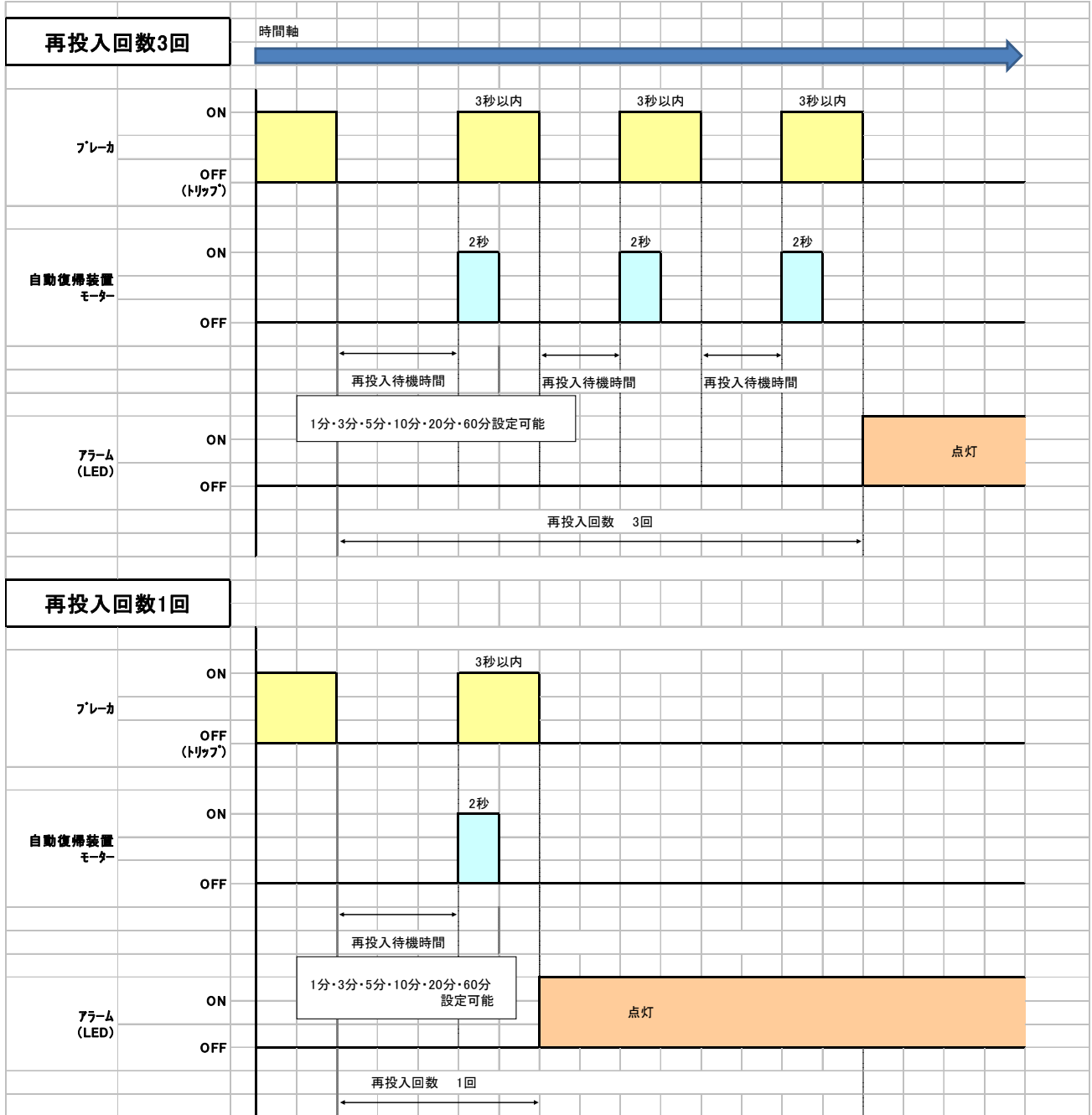
Ⅲ 通常動作のタイムチャート



IV 瞬断判定動作のタイムチャート

再投入回数 1回、3回は工場出荷時に設定可能

再投待機時間 1分・3分・5分・10分・20分・60分はMODE* 2で設定可能

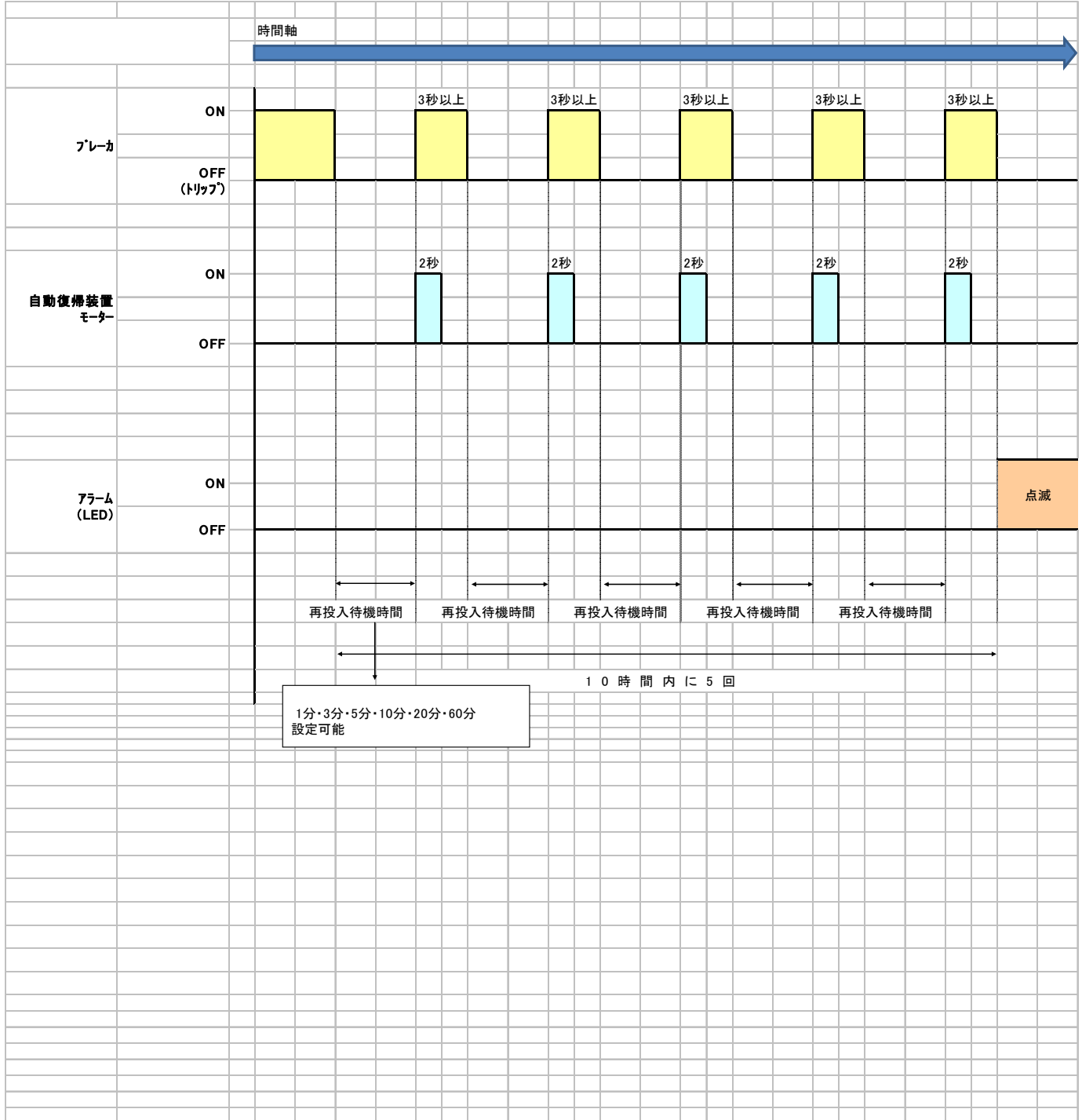


負荷に何らかの原因があった場合ブレーカ投入後、瞬断します。その場合は瞬断判定にて再投入動作を中止し、ALARM表示します。

V 間欠判定動作のタイムチャート

10時間内、再投入回数5回は変更できません

再投待機時間 1分・3分・5分・10分・20分・60分はMODEキ*で設定可能



微量な漏電などはブレーカ投入後、瞬断しない場合があります。その場合は間欠判定にて再投入動作を中止し、ALARM表示します。